

(配布先)

支店長・副支店長
施工担当部署長、建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店災害防止協議会

事務連絡（安-2021-14）

令和3年6月11日

関西支店
安全環境部長

型枠支保工の崩壊防止について（要請）

先日、他支店の新築工事作業所で、床コンクリート打設中に型枠支保工が崩壊し、デッキスラブ上にいた作業員4名が被災する事案（いずれも不休）が発生しました。

（別紙1参照）

詳しい原因については調査中ですが、デッキを載せる端太角を支持するサポートの本数が、所轄労働基準監督署に提出した計画届に記載されたものより少なかったとのことです。型枠支保工の崩壊による災害は、平成13年にも発生しており、一歩間違えば重大災害になりかねません。（別紙2参照）

つきましては、型枠支保工の崩壊を防止するため、改めて下記事項を作業所関係者に徹底させてください。

記

1. 所轄労働基準監督署に提出した計画届の内容について、実際に型枠を組み立てる作業主任者まで情報共有されていることを確認する。
2. コンクリート打設前に型枠支保工が計画届と合致していることを確認する。

以 上

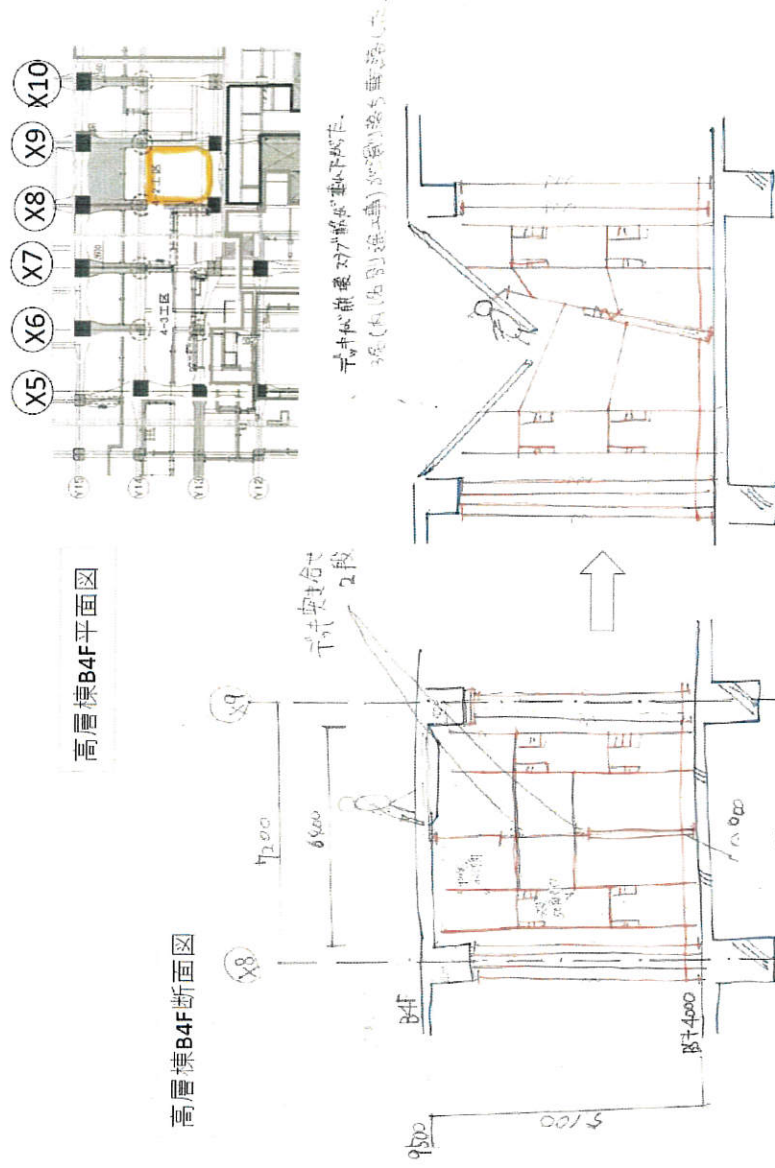
※この事務連絡は、事務連絡21-16（令和3年6月7日）安全環境本部発行に基づき作成しました

(崩壊・倒壊) コンクリート打設中にデッキプレートの支保工が崩壊し、作業中の4名が落下

◇発生日時:2021年5月29日 (土) 午後4時00分頃

◇被災者:A(左官工):30歳_経験2年9ヶ月(2次所属), B(土工):31歳_経験11ヶ月(1次所属),

C(土工):26歳_経験2年7ヶ月(1次所属), D(給排水衛生工):51歳_経験9年2ヶ月(別途工事)



【発生状況】

B4F デッキスラブ(厚さ300mm)上で、バイブレーターを用いてコンクリートの締固めを行っている時に、デッキスラブの支保工が崩壊し、デッキプレート・スラブ配筋が崩れ落ち、作業中の4名(うち1名は別途工事作業員)が巻き込まれ落下した。

(腕・胸部・手指・下肢・臀部等 打撲)

(休業見込日数:0日)

(配布先)
部門安全部長、安全環境部長

事務連絡 00-61
平成 13 年 3 月 19 日

安全・調達本部
安 全 部 長

型枠支保工の崩壊防止について

先日、床コンクリート打設中に型枠支保工が崩壊し、スラブ上にいた作業員 5 名が B1F から B2F へ約 4.5m 落下する災害が発生しました。(災害事例シート参照)

幸いにも 5 名とも軽傷(不休)でしたが、一歩間違えば大きな災害にもなりかねない状況でした。

原因は現在調査中ですが、類似災害の防止を徹底するため、下記事項の実施を関係部署並びに作業所及び取引業者に改めて指導願います。

記

1. 型枠支保工を変更する場合の措置

- ①事前に組立図を作成し、構造計算により安全性を確認する。
- ②支保工の措置については、安衛則(242 条)に定められた事項を遵守する。
- ③高さ 3.5m 以上のものは、社内審査のうえ所轄労働基準監督署に機械等変更届を提出する。

2. コンクリート打設前の措置

- ①支保工全体が、水平力に対して安定するようコンクリートの打継場所と打設方法を検討する。
- ②コンクリート打設までに、工事長等の型枠工事の責任者が組立状況を確認する。
(打設前点検は、作業主任者・型枠担当係員任せにせず、工事長等型枠工事の責任者が自分の目で必ず確認する)

以 上

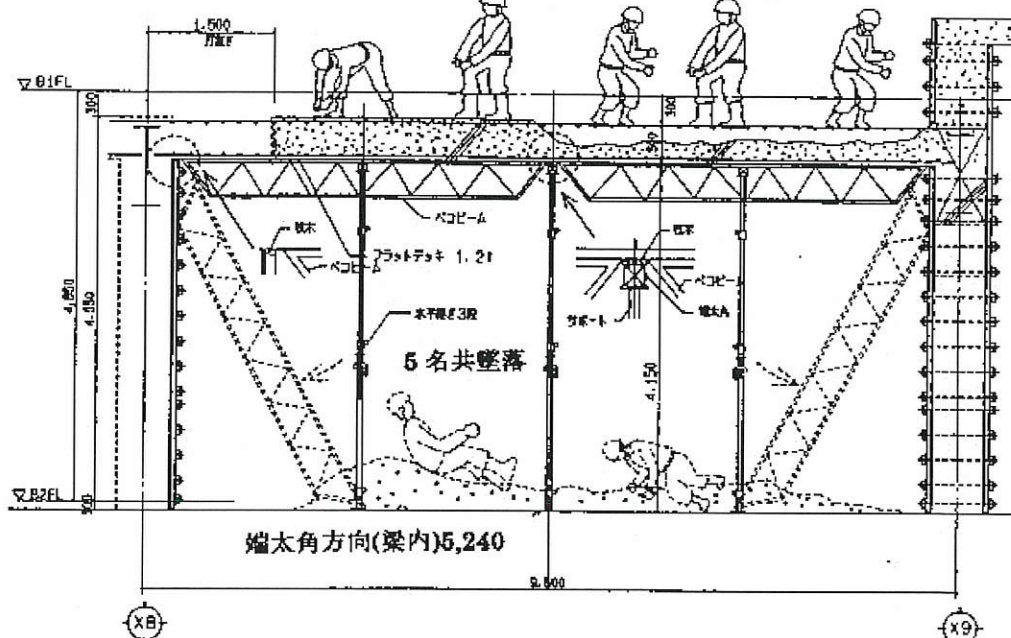
災害事例シート

N O	工種	工事	作業工程・部位	作業形態
20013001	建築・建家工事	コンクリート工事	ホース先端作業	本作業
事故の型	職種	起因物（大分類）	起因物（中分類）	起因物（小分類）
型枠崩壊	土工	仮設物	型枠	スラブ
被災場所・設備（大分類）	被災場所・設備（小分類）	年齢	勤務日数	被災程度
型枠	スラブ	40 歳	150 日	休業0日（不休）

発生状況：土工が床コンクリート打設中、スラブ崩壊により墜落する（不休災害）

スラブコンクリート2回打ち（1回目約250mm、2回目約2時間半後）

土工（3名）・ポンプ工・左官工



地下2階上がり地下1階床のコンクリート（厚さ50cm）打設中、床型枠が崩壊し地下1階床上から地下2階まで墜落した。（約4.5m）（床コンクリートの打設は2回打ちで午前中に約半分が打設完了し、午後時間差2時間半後に残り半分の打設中に災害発生）

原因（上段：人、中段：物、下段：管理）	対策（上段：人、中段：物、下段：管理）
・作業手順違反、省略、間違い、検討不足（下部支保工が大幅に不足した状況でコンクリートを打設）	・支保工の検査体制を整え確実に実施する・スラブにコンクリートを打設する前には、大工の相番工に確認のうえ打設に入る
・型枠支保工についての措置が不十分・当該場所の型枠支保工組立図無し	・特異な場所については、必ず型枠支保工組立図を作成し、強度を確認する。

MEMO